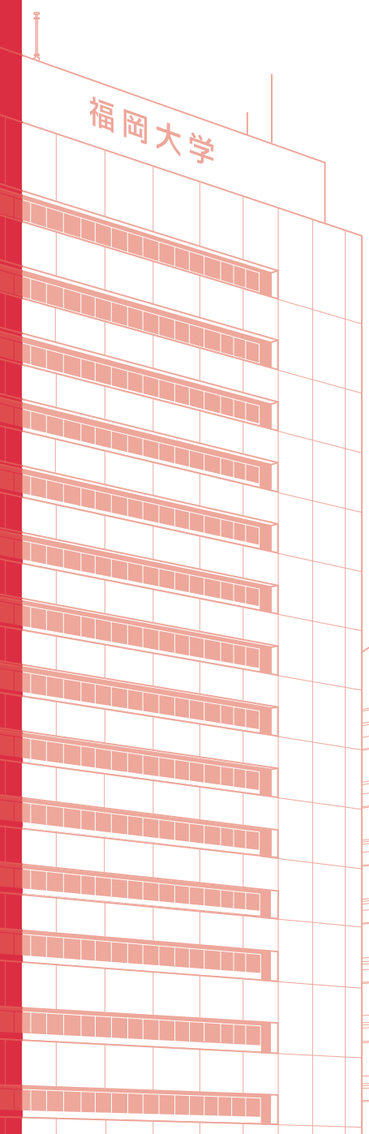
FUKUOKA UNIVERSITY

FACULTY GUIDEBOOK



スポーツ科学部

Faculty of Sports and Health Science

・スポーツ科学科
・健康運動科学科

福岡大学
学部ガイド2026

FUKUOKA UNIVERSITY

入学センター
〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号
TEL：092-871-6631（代）

スポーツ科学部
ウェブサイト

キャンパス
マップ

Theory & Practice

文武合一

［理論知と実践知の融合］

スポーツと健康運動について、実践と科学を学ぶ。

はじめに

スポーツ科学部は、スポーツ・体育・レクリエーション・レジャー・健康・福祉などを対象とする広範囲の学問の深化を図り、21世紀のウエルネス社会実現に向けて貢献し、スポーツ知を拓く学部として機能することを目的とし、スポーツ・体育・健康運動の自然科学・人文社会科学の知識に裏づけられた理論的指導ができる人材を育成します。

※本冊子に掲載している人物の情報は、2024年度取材時のものです。

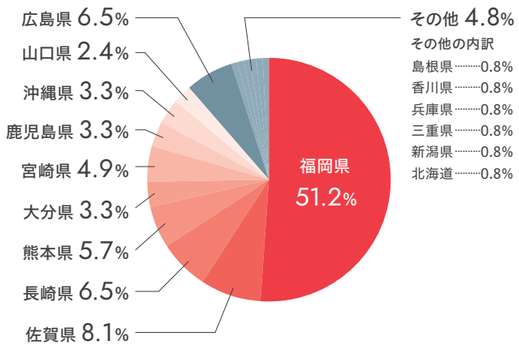
就職者の約2割、123人※が教員に。

※2022～2024年度の実績

福岡県内はもとより、西日本の各地で活躍しています。

2024年度の教員免許状取得者数実績 **102人**

▶ 教員の県別就職先



学部長メッセージ

スポーツ科学を学び、スポーツと健康のエキスパートとして社会に貢献する人財へ

スポーツ科学部長　檜垣 靖樹 HIGAKI Yasuki

スポーツ科学は、スポーツや身体活動・運動を基軸とし多角的な視点から研究する学問です。主な分野には、スポーツ生理学、スポーツ心理学、バイオメカニクスといった自然科学的な領域からスポーツ社会学、スポーツ哲学といった人文・社会学的な領域が含まれ、領域横断型の学びを体現することができます。

スポーツ科学部は、スポーツ科学科と健康運動科学科の2つの学科から構成されています。それぞれの学科には、目指す将来像を見据えて多様なコースを準備しています。今、目標に向かって勉強している在学生の声、そして目標を達成し社会で活躍する卒業生の声の欄を読んでみてください。あなたの夢を実現する理想的なモデルとなる先輩がいるのではないでしょうか。

現在、人生100年時代に向けて、一人の人間として全人的に成長し続ける“ちから”を身に付けることが求められています。スポーツには、その“ちから”を育むためのさまざまな要素が含まれています。例えば、自身の限界に挑戦したい、挑戦している人を支えたい、トレーニングの理論や健康づくりの理論を深く学びたい、スポーツや健康に係る課題を解決したい、などの目的を達成する過程で、新たな知識、洗練されたスキル、積極的な態度を身に付けることができます。

スポーツ科学を理論的かつ実践的に学ぶことを通じて、新たな価値を創造して社会から求められる人に、そして貢献する人財になることを期待しています。

目次

学部長メッセージ …… 01
学科紹介 …… 02
　スポーツ科学科 …… 02
　健康運動科学科 …… 04
教員・研究の紹介 …… 06
スポーツ研究施設・設備の紹介 …… 08
クラブ活動 …… 10
活躍する現役生 …… 11
「スポーツ科学部」に入学したら？ …… 12
スポーツ科学を極める！～学部から大学院へ～ …… 13
トップアスリート紹介 …… 14
トップアスリートリスト …… 15
スポーツ科学部Q＆A …… 16

▶ アドミッション・ポリシー　Admission Policy

①スポーツを日常的に実践している人
②スポーツや身体運動を対象に積極的に科学しようとする人
③競技スポーツにおけるパフォーマンスの向上を目指す人
④体育教員、スポーツコーチ、インストラクター、健康運動指導士などスポーツや健康全般にかかわる職種を目指そうとする人

▶ カリキュラム・ポリシー　Curriculum Policy

スポーツ科学部のカリキュラムは、ディプロマ・ポリシー（DP）に示した人材を育成することを目的として編成されています。

そのためのカリキュラムとして、1年次より共通教育科目とともに基礎的な専門教育科目を配置し、学年が進むにしたがって学生個々の興味と関心に基づいて選択できる専門教育科目を多くしています。また、1年次から就職等の進路を視野に入れて意図的、計画的に専門教育を進めることができるように、一部選抜制を含む推奨コースを設定しています。さらに、実技科目や演習科目は、理論と実践を統合した教育を体系的に行うために、少人数のクラスによる双方向の授業形態を多くとっています。

スポーツ科学科は、自らが専門とするスポーツ種目の技能およびスポーツ全般にわたる科学的指導能力の向上を、また健康運動科学科は、健康運動・レクリエーションの科学的基礎知識に基づく実践・指導能力の習得をそれぞれねらいとし、各学科の特性にあったカリキュラムを編成しています。

▶ ディプロマ・ポリシー　Diploma Policy

スポーツ科学部の教育課程においては、以下に掲げる能力を備え、厳格な成績評価のもとで所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与します。
①スポーツや運動全般の科学的指導能力を備えている。
②専門とするスポーツ・運動の高い技能と指導能力を備えている。
③スポーツ・運動の医科学的知識に基づく卒業論文作成能力を備えている。
④スポーツ・運動を通じて得られた社会や職業活動に必要なコミュニケーション能力、課題解決力、倫理的思考力を備えている。
⑤人文科学、社会科学、自然科学および外国語の幅広い知識と教養を身につけている。

人材養成の目的「三つのポリシー」

■ アドミッション・ポリシー（AP）〈入学者受け入れの方針〉
■ カリキュラム・ポリシー（CP）〈教育課程編成・実施の方針〉
■ ディプロマ・ポリシー（DP）〈学位授与の方針〉

スポーツ科学部の詳細は以下のQRコードから（公式ウェブサイト）

▼AP　▼CP　▼DP

スポーツ科学科

Department of Sports Science

学科
公式ウェブサイト ›

スポーツ科学を学び、競技能力アップに応用。ハイレベルなアスリートや指導者を目指す。

スポーツ科学科が注力しているのは実践（選手活動）を通じてスポーツ科学の専門知識を学び、それを競技能力の向上に応用すること。同時に、その過程から科学的なトレーニング法やテクニックの開発法、発達に応じた指導法といったコーチングから施設や用具の開発、マネジメントに至るまで、スポーツに関わる専門技能を広く修得することです。また、学生相互の切磋琢磨や充実した環境を生かして、プロや国際レベルでの活躍が目指せるのも本学科ならではです。

求める人材像（求める能力）

A	知識・理解	競技スポーツを科学的に捉えるための基礎学力を有している人
B	技　能	競技スポーツの経験を有し、競技力向上のために科学的に課題を分析できる人
C	態度・志向性	スポーツの場面以外でも、スポーツの精神を体現化し、スポーツの素晴らしさを伝えたいと考える人
D	その他の能力・資質	学校生活全般でリーダーシップ・コミュニケーション能力を発揮した人や英語資格の取得等に努めた人

求める人材像（求める能力）の詳細は

スポーツ科学科での4年間

1年次　基礎
自分の競技種目から他の種目にも視野を広げ、スポーツ全般に関する基礎理論とコーチング理論を修得する。

→

2年次　実践
1年次で修得した理論をベースに、トレーニングやコーチングを主としたスポーツ科学について実践的に学ぶ。

→

3年次　実践
スポーツ科学の研究を意識し、専門とする競技の実践（選手活動）と高度な理論学習の双方から取り組む。

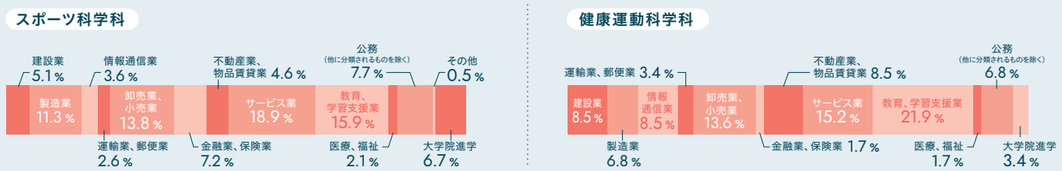
→

4年次　卒業研究
これまでの競技実践や理論学習をベースに「卒業研究論文」をまとめ、4年間の集大成とする。

→

卒業後
国際レベルでの活躍を目指すトップアスリートやプロ選手へ
スポーツの指導者や研究者へ

就職情報（その1）｜スポーツ科学部の主な就職・進路先（業種別）［2024年度卒業生実績］



取得可能な主な資格

- 中学校・高等学校教諭一種免許
- 社会教育主事
- コーチ
- ジュニアスポーツ指導員
- スポーツプログラマー　など

在学生の声

日本トップレベルのスポーツ科学がここに。パフォーマンス向上に直結する理論が面白い。

3年次生　徳永 淳哉 さん
（宮崎県 延岡高校出身）

Q1 この学科の魅力は？

国内トップクラスの元アスリートの先生方の下、科学的にスポーツを解き明かし、スポーツの現場で生かせる実践力を養えることです。学習内容をそのまま競技に生かせばパフォーマンス向上に直結します。運動前後の正しい食事やトレーニング方法、筋肉の動きなど、学べば学ぶほど知識が武器となり結果として表れるため、さらに学びの意欲につながります。

Q2 好きな授業は？

スポーツ中の筋肉や関節の動きを実験で可視化する「スポーツバイオメカニクス及び運動学実験」です。目に見えない力の大きさや動きを機械で数値化します。弱点を理解してパフォーマンスを改善したり、動きの癖を知ってケガの予防ができる面白さがあります。授業での学びを課外活動の水泳にも活用し、効率良く体を使うことで自己ベストを記録しました。

私の時間割（3年次前期）

	月	火	水	木	金
9:00			アスレチックリハビリテーション	スポーツバイオメカニクス及び運動学実験	インターミディエイト・イングリッシュⅢ
10:40	生徒指導論（進路指導を含む。）		教育相談		
13:00			レクリエーション演習Ⅰ		総合的な学習の時間と特別活動の指導法
14:40	公衆衛生学（含衛生学）		スポーツ科学演習		エアロビックエクササイズ
16:20			教育方法とICTの活用		

卒業生の声

スポーツを通して築き上げた精神力と向上心。学び、考え、実行に移すパワーは仕事に役立つ。

現在の仕事は、お菓子などの商品パッケージを提案することです。現場では、お客さまの課題が何かを見つけ出し、自社の強みをどう課題の解決に生かせるかなど、地道な作業を継続していかなければなりません。これには、自分を成長し続けられる行動や方法を会得することが大切です。

本学科では、スポーツに関する科学的な知識をどのように競技力の向上に生かすか、自分の存在がチームにどのような影響を与えられるかを考える機会が数多くありました。レベルの高い仲間と共に学び、選手として、一人の人間として成長に結びつけるためのヒントに出合えます。その経験こそが、常に正解を求めて考え続ける力を養えたのだと思います。トップアスリートとの交流が豊富なことも刺激になります。知識と実践をどちらも高いレベルで取り組める場で4年間を過ごせたことで、考え行動するパワフルな自分を実感する日々です。

三苫 佑 さん（2024年卒業）
TOPPAN株式会社

スポーツ科学部

健康運動科学科

Department of
Health and Exercise Science

運動と健康に関する分野を科学的・実践的に学び、第一線で活躍する研究者や指導者への道を開く。

健康運動科学科では学生自身がスポーツとレクリエーションを実践しながら、心身の健康維持や増進、回復の理論と技術を学びます。スポーツ科学科と比較した場合、“運動による心身の健康づくり”を重視しているところが特長です。生活に密接な運動と健康づくりを科学的に学習すると同時に、現場での実習や企業・地域公共施設と連携した実務教育を展開。スポーツ医科学や生涯スポーツの最前線で活躍するハイレベルな研究者や指導者を育成します。

求める人材像（求める能力）

A	知識・理解	生涯スポーツを科学的に捉えるための基礎学力を有している人
B	技　能	生涯スポーツの経験を有し、健康の回復や保持増進について科学的に分析できる人
C	態度・志向性	スポーツの場面以外でも、スポーツの精神を体現化し、スポーツの素晴らしさを伝えたいと考える人
D	その他の能力・資質	学校生活全般でリーダーシップ・コミュニケーション能力を発揮した人や英語資格の取得等に努めた人

求める人材像（求める能力）の詳細は

健康運動科学科での4年間

1年次　基礎
心身の健康維持や増進、回復の理論と技術に関する基礎理論を着実に修得していく。

→ **2年次　実践**
健康づくり・野外教育・レクリエーションに関する知識と理論、技術を学ぶ。

→ **3年次　実践**
運動療法や健康づくりの指導、野外教育・レクリエーションの指導などの演習・実習に取り組む。

→ **4年次　卒業研究**
これまでの実践や理論学習をベースに「卒業研究論文」をまとめ、4年間の集大成とする。

→ **卒業後**
レクリエーションや健康運動に関する研究者や指導者へ

就職情報（その2）　スポーツ科学部の主な就職・進路先（企業名別）［2022年度～2024年度］

建設業
- 大和ハウス工業(株)
- (株)九電工

製造業
- ミネベアミツミ(株)
- TOPPAN(株)
- コカ・コーラボトラーズジャパン(株)
- エーザイ(株)
- パラマウントベッド(株)
- YKK　AP(株)
- (株)アイシン
- 日本製鉄(株)
- アイリスオーヤマ(株)
- 日清紡マイクロデバイス(株)
- TOTO(株)

電気・ガス・熱供給・水道業
- 九州電力(株)

情報通信業
- NECソリューションイノベータ(株)
- エフサステクノロジーズ(株)
- (株)NTTドコモ
- (株)QTnet
- 熊本朝日放送(株)

運輸業、郵便業
- ANA福岡空港(株)
- 九州旅客鉄道(株)
- 西日本旅客鉄道(株)

卸売業、小売業
- (株)アステム
- 持田製薬(株)
- 山下医科器械(株)
- ヤマエ久野(株)

金融業、保険業
- (株)西日本シティ銀行
- (株)福岡銀行
- 日本生命保険(相)

宿泊業、飲食サービス業
- 日清医療食品(株)

生活関連サービス業、娯楽業
- コナミスポーツ(株)
- (株)JTB

教育、学習支援業
- 福岡県教員(高校)
- 佐賀県教員(高校)
- 広島県教員(中学校)
- 福岡市教員(小学校)
- 福岡市教員(中学校)

医療、福祉
- (株)麻生
- 日本赤十字社

サービス業(他に分類されないもの)
- (株)JALナビア
- トランスコスモス(株)

公務(他に分類されるものを除く)
- 国税専門官
- 法務省専門職員(人間科学)
- 刑務官
- 福岡市役所
- 長崎市役所
- 福岡県警察本部
- 熊本県警察本部
- 糸島市消防本部
- 東京消防庁

など

学科
公式ウェブサイト ›

取得可能な主な資格

- ☑ 中学校・高等学校教諭一種免許
- ☑ 社会教育主事
- ☑ 健康運動指導士
- ☑ 健康運動実践指導者
- ☑ 野外教育・レクリエーション指導者
- ☑ スポーツプログラマー　など

在学生の声

3年次生　林 希美 さん
（福岡県 香住丘高校出身）

人の身体を健康と運動の観点から解き明かす。学内施設での専門的な実験も充実。

Q1 この学科の魅力は？

生理学や心理学、栄養学など人体に関する幅広い学問を健康と運動の視点から専門的に勉強できるところです。自らが験者や被験者になる実験が多く、大学病院の施設で大規模な測定装置を扱う授業があることも魅力です。また、本学科は健康運動指導士養成校に認定されているので、資格取得のためのプログラムも充実しています。

Q2 好きな授業は？

運動中の身体の反応やパフォーマンスを数値やデータとして観察できる「スポーツ生理学実験」です。最大酸素摂取量を測定する際には、バイク型の装置に乗って自身の持久力を数値化しました。結果についてはスポーツ生理学の視点から考察します。自分の言葉で考えをまとめることで、原理を理解し、興味のある分野をより深く探求できました。

私の時間割（3年次前期）

	月	火	水	木	金
9:00			アジアの文学A	スポーツ生理学実験	インターミディエイト・イングリッシュⅢ
10:40	生徒指導論（進路指導を含む。）				
13:00		総合的な学習の時間と特別活動の指導法		道徳教育論	エアロビックエクササイズ
14:40	公衆衛生学（含衛生学）	運動療法・処方（含むリハビリテーション）	スポーツ科学演習		
16:20					

卒業生の声

安全で効果的な運動療法を提供する心臓リハビリ。授業と実習の積み重ねが、いまの仕事につながった。

本学科に進学したのは、保健体育教諭一種免許を取得できることに加え、健康運動指導士養成校に認定されていたからです。スポーツ生理学やスポーツ内科学の授業を通して、運動がどのようにがんや生活習慣病の予防につながるのか興味がありました。3年次に先生の勧めで心臓リハビリ施設を見学したことがきっかけで、現在の仕事に出合いました。

現在は、心臓病を発症し、運動能力や体の調節機能が低下した患者さんに対して運動療法を実施しています。患者さんの当たり前の暮らしを支援できること、そして「ありがとうございました」と感謝の言葉を頂く時は、嬉しい気持ちと同時にやりがいを感じます。

本学科は、高齢者における心身の健康づくりを科学的・実験的に学ぶカリキュラムが充実しているのも特長です。今では、在学中に培った経験が私の強みになっています。

前原 雅樹 さん（2012年卒業）
金谷内科クリニック
スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 修士課程
（2014年修了）

教員・研究の紹介

スポーツ科学部に所属している教員をご紹介いたします。※2025年4月1日現在

教員からのメッセージや詳細 はこちら ›

乾 真寛 教授

専門分野
「サッカー」「コーチング学」「指導法」「ゲーム分析」

主にサッカーコーチングの領域で、世界及び日本のトップレベルのコーチング法や育成システムの研究、開発、年令に応じた一貫指導プログラムの研究と指導者育成。

片峯 隆 教授

専門分野
「陸上競技」
「コーチング学」
「スポーツバイオメカニクス」

陸上競技に関するコーチング学及び科学的分析による研究・教育。

田口 晴康 教授

専門分野
「体操競技」「器械運動」「スポーツ運動学」

学校体育における器械運動の指導法および体操競技の技の分析について、スポーツ運動学的視点から教育・研究をすすめている。

上原 吉就 教授

専門分野
「循環器内科学」
「スポーツ医学」「予防医学」

生活習慣病、動脈硬化関連疾患の先進治療・予防に関して研究している。心機能低下者への運動の有益性やアスリートへのパフォーマンス向上を探索している。また、善玉コレステロールであるHDLの骨格筋への作用や人工HDLの開発を行っている。

川中 健太郎 教授

専門分野
「スポーツ栄養学」「スポーツ生化学」「分子運動栄養学」

運動することで体力向上(スポーツ競技成績を含む)ならびに健康増進効果が引き起こされる。さらに、運動効果は食事・栄養によって影響される。これらの現象と仕組みについて、生理学・生化学・分子生物学の手法を用いて研究することで、効果的な運動・食事処方を考案することを目標とする。現在は、糖尿病や認知症との関連が深い骨格筋や脳の代謝機能をターゲットにしている。

田中 守 教授

専門分野
「体力学」「トレーニング学」
「スポーツ生理学」
「ハンドボール」

競技スポーツの体力学・運動生理学研究を行っている。ハンドボールの技術・戦術研究も行っている。共同研究として健康づくりのための運動処方研究にも関わっている。

梅田 保人 教授

専門分野
「保健体育科教育学」

学校教育活動の中で、保健体育科が果す役割について研究を行い、実践的な能力を有した保健体育科教員の養成を行っている。

小牟礼 育夫 教授

専門分野
「バスケットボール」
「コーチング学」

(1)対象、成績目標、様相に応じた指導計画、指導内容、具体的指導法。
(2)現場での効果的な指導につながるゲーム分析。
(3)スキルアップの為の映像活用。

田場 昭一郎 教授

専門分野
「競泳」
「コーチング学」

(1)競泳に関するコーチング学。
(2)競技力向上のための実践的研究と教育。

柿本 真弓 教授

専門分野
「体つくり運動」
「新体操競技」

(1)体づくり運動、新体操に関する研究。
(2)高齢者における体操の効果に関する研究。

重森 裕 教授

専門分野
「スポーツ医学」
「スポーツ脳神経外傷」

各種スポーツによって生じる脳神経外傷の予防に関した研究を行っている。また、脳卒中や外傷により生じた後遺症に対するより良いリハビリテーション、スポーツについて研究している。

築山 泰典 教授

専門分野
「野外教育」
「レクリエーション」

ウエルネス向上を目的とした野外教育・レクリエーションの実践・研究。

柿山 哲治 教授

専門分野
「保健体育科教育」

(1)教育活動では、中学校および高等学校における実践能力の高い保健体育教員養成を行っています。
(2)研究活動では、バスケットボール移入におけるアメリカ人女性宣教師の貢献と役割について調査を行っています。

下園 博信 教授

専門分野
「スポーツ心理学」
「スポーツ行動科学」

(1)スポーツ心理学分野での認知・知覚についての研究。
(2)ラグビーを主としたコーチング方法、ゲーム分析法の研究。
(3)スポーツ心理学的な観点でのコーチング研究。

布目 寛幸 教授

専門分野
「スポーツ
バイオメカニクス」

優れたスポーツ動作の背景にあるダイナミクス(動力学)の探求。

野口 安忠 教授

専門分野
「陸上競技」
「コーチング学」

陸上競技に関するコーチ学を中心に、実践研究をする。特に、投てきにおいての指導法の研究・教育。

山口 幸生 教授

専門分野
「運動心理学」
「行動科学」

主に運動・スポーツ心理学の領域で、行動科学にもとづく効果的な身体活動促進プログラム開発やその有効性に関する研究に従事。ITを活用した健康づくりシステムの開発や市町村と共同でヘルスボランティアの養成なども実施。

信岡 沙希重 准教授

専門分野
「陸上競技」
「コーチング学」

陸上競技、特に短距離に関するコーチング学を中心に競技力向上のための実践的研究を行っている。また児童を対象とした疾走能力の研究も進めており、トレーニングプログラムの考案に取り組んでいる。

檜垣 靖樹 教授

専門分野
「運動生理学」
「健康科学」「予防医学」

(1)生活習慣病予防と身体活動・運動に関する生理・生化学研究及び分子疫学研究。
(2)運動による骨格筋の糖取り込み亢進機序の解明。
(3)身体活動(運動トレーニング)の効果を左右する遺伝素因の探索。

吉村 一朗 教授

専門分野
「スポーツ整形外科」
「足(足関節)の外科」

スポーツ整形外科とはスポーツによって生じるスポーツ傷害(外傷・障害)の予防と早期復帰を目指すものである。特に足部・足関節におけるスポーツ傷害の治療および予防について研究を行っている。

神田 智浩 講師

専門分野
「剣道」
「コーチング学」

剣道の競技力向上および普及発展を目的とした研究、また、剣道を主としたコーチング法の研究を行っている。

藤井 雅人 教授

専門分野
「スポーツ社会学」
「スポーツ教育学」

特にドイツの青少年スポーツに関する研究知見を基に、現代社会の変化がスポーツにどのような影響を及ぼしているのか、そして具体的なスポーツシステムの構築・展開はどのようになされるべきであるかを考究している。

米沢 利広 教授

専門分野
「バレーボール」
「コーチング学」

スポーツコーチングの効果的な指導方法に関する研究。特に、バレーボールのコーチングにおいては、科学的アプローチ方法と実践の教育・研究を行っている。

霜島 広樹 講師

専門分野
「スポーツマネジメント」
「スポーツマーケティング」「テニス」

(1)スポーツ消費者(実施者・観戦者)における行動メカニズムの解明。
(2)民間スポーツクラブやプロスポーツクラブにおけるマネジメント方策の探求。
(3)スポーツイベントの開催が及ぼす効果・インパクトに関する研究。

道下 竜馬 教授

専門分野
「運動生理学」
「運動療法・処方」「予防医学」

健康づくりや疾病予防のための体力、運動、身体活動に関する生理学的、疫学的研究、特に運動トレーニングによる動脈硬化や慢性腎臓病の改善効果ならびに機序解明に関する研究、疾病予防を目的とした運動・身体活動のコホート研究を行っている。

今村 律子 准教授

専門分野
「保健体育科教育学」

実践的能力を有した保健体育教員の養成。また、体育教員の運動指導時における視線解析や、脳の視覚情報処理から見た運動制御の解明を試みている。

吉田 一也 講師

専門分野
「スポーツトレーナー」
「スポーツ医学」
「アスレティックトレーニング」

スポーツにおける外傷・障害の予防や、パフォーマンス向上を目的としたコンディショニングについての研究を行っています。

村上 純 教授

専門分野
「ラグビー」
「コーチング学」

コーチングに関わる科学的な根拠の研究を中心に行っている。具体的には、コーチング現場に必要とされる技術分析、方法学、トレーニング方法の改善と開発、ゲーム分析に関する研究に従事している。また、ラグビーのコーチ養成も実施している。

坂本 道人 准教授

専門分野
「柔道」
「コーチング学」

(1)柔道に関するコーチング学。
(2)競技力向上のための実践的研究と教育を主な研究テーマとしている。

渡邊 正和 講師

専門分野
「スポーツバイオメカニクス」
「野球」
「コーチング学」

野球に関するバイオメカニクス的分析における研究。
競技パフォーマンスの向上に関する指導及び研究。

森口 哲史 教授

専門分野
「公衆衛生学」
「スポーツ鍼灸」
「ハンドボール」

(1)環境変化の生体影響・物理刺激の生体影響に関する研究。
(2)ハンドボール選手の体力特性に関する研究。
(3)スポーツ選手の傷害に関する研究。

スポーツ研究施設・設備の紹介

総合体育館
（2017年2月竣工）

総合体育館は、4階建ての多機能なスポーツ施設です。武道練習場（柔道・剣道・合気道）や球技練習場（卓球・バスケットボール・バレーボール・バドミントン）は、国際規格に準じた広さや配色を採用しています。

バスケットボール練習場

バレーボール練習場

柔道場

第二記念会堂
［外観］

鉄筋の4階建てで、3,600㎡のメインフロアに約1万人を収容することが可能です。

第二記念会堂［室内］

実験風景

メディカルフィットネスセンター
（福岡大学病院内）

陸上競技場

国内の大学ではトップクラスの競技場。トラックは全天候型で1周400m×8レーン。砲丸投げ、やり投げ、ハンマー投げ、円盤投げ、走り高跳び、三段跳び、棒高跳びの施設、写真判定室や夜間照明、1,036席の屋根つき観客席などを備えています。

野球場

2014年に両翼100m、中堅122m、内外野人工芝の新しい野球場が完成しました。ダッグアウトにはロッカールーム、シャワールーム、スイングルームを備えています。

サッカー場

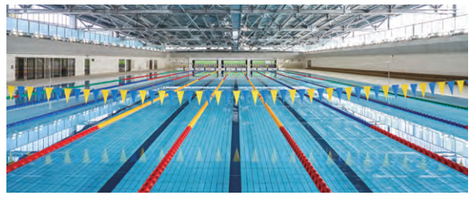
FIFA（国際サッカー連盟）に認定されたサッカー場です。新技術で都市型水害の軽減、ヒートアイランド現象制御効果も期待されます。

ラグビー場

九州の大学では初の人工芝ラグビー場。芝生総面積12,850㎡、観客席設置。九州ラグビー協会主催公式戦にも活用します。

プール
（2021年2月竣工）

室内50m（長水路）の新築されたプールです。隣接するサッカー場の観客席やテラスも備えています。



クラブ活動

その他の 福岡大学 クラブ活動 はこちら ›

学生の自主的活動によって、豊かな人間性を育成する部活動は、大学における教育の一環として重要な意味を持っています。福岡大学の体育部会は、45部1同好会を擁し、各大会などで優秀な成績を収めています。その一部を紹介いたします。

陸上競技部

体操競技部

水泳部

新体操競技部

柔道部

剣道部

なぎなた部

バスケットボール部

バレーボール部

ハンドボール部

サッカー部

ラグビー部

バドミントン部

卓球部

庭球部

ソフトテニス部

ソフトボール部

野球部

活躍する現役生

陸上競技

これまでの成績
- 2024日本学生陸上個人選手権大会 100m 優勝（U20日本新・大会新） 200m 優勝（大会新）
- 2024ナッソー世界リレー出場

山形 愛羽 さん ｜ 熊本県 熊本中央高校出身

私が競技を始めたのは小学5年生からで、きっかけは陸上をしている母の姿がとても楽しそうだったからです。最初は大きな大会に出場できる選手ではありませんでしたが、高校になってから全国大会やシニアの大会に出場し、優勝や入賞など結果を残せるようになりました。福岡大学に入学した理由は、女子200m元日本記録保持者である信岡沙希重先生の指導を受けたいと思ったからです。また、日本でトップの成績を残されている先輩方も多く在籍しているチームで練習することが、競技力の向上に繋がると思いました。さらに400mの陸上競技場やスポーツ施設が整っている環境で競技活動が行えるのも大きな魅力でした。

入学して感じたことは、スポーツ科学部の講義での知識はもちろん、日常でも多くの先生方のサポートが私の支えになっているということです。1年次に大きな怪我をしたものの早く競技に復帰できたのは、この整った素晴らしい環境のおかげであり、感謝の気持ちでいっぱいです。

今後の目標は100mと200mでの日本記録を樹立することと、世界で活躍できる選手になることです。怪我をして悔しい気持ちになったことも良い経験として、目標に向かって頑張っていきたいと思います。

ハンドボール

これまでの成績
- 第10回女子ユースハンドボール世界選手権 8位

大山 紗理奈 さん ｜ 福岡県 明光学園高校出身

私がハンドボールを始めた理由は中学時代の先生からの誘いがきっかけです。最初はハンドボールという競技も知りませんでした。中学校では週に4日しか練習をせず、高校生になり本格的にハンドボールをする中で、全国レベルの大会に出場する機会が多くなり、勝ちの喜びや負けの悔しさを知りました。この悔しさを糧に、地元で活躍したいという思いから福岡大学に入学しました。本学のハンドボール部は、去年リーグHでプレーする選手を男女含め9人輩出しています。「徹底」をスローガンに厳しく楽しいメリハリを大切にし、堅い守りから速攻を武器にして今年は全日本インカレベスト4を目標に日々の練習に取り組んでいます。体育館だけでなくトレーニングルームも充実しており、質の高いトレーニングで練習できるのも魅力の一つです。私はこういった素晴らしい環境でトレーニングをすることで個人では年代別の日本代表にも選出され、世界でも通用したプレーに自信を持つことができました。ここで満足せず日々の練習に取り組みさらにパワーアップし、日頃から応援してくださる方々のためにも結果で恩返しできるように努力し続けます。応援よろしくお願いします。

剣道

これまでの成績
- 第43回全日本女子学生剣道優勝大会 優勝

香野 伶奈 さん ｜ 福岡県 中村学園女子高校出身

私は5歳の頃から兄姉の影響で剣道を始めました。高校では、日本一という目標を達成し、個人でも3位という結果を残すことができました。競技への向き合い方、人間性などさまざまなことを学び、充実した3年間でした。高校時代は挑戦者、かつ追われる立場だったことから自分の最大限のパフォーマンスを発揮することができず、悔しい経験が多かったです。

福岡大学に入学した理由は、大学では自分が追う立場として強い大学を倒したいこと、自主性を持って挑戦者として戦いたいという気持ちが強かったからです。本学の剣道部は男女とも明確な目標があり、基本を大切に日々努力しています。仲の良い活気のある部活で、メリハリをつけて行動しています。大学での目標は、全日本女子学生剣道優勝大会で日本一になることができたので、また、日本一の景色を見られるようにチームワークを大切に自分たちらしく明るく元気に剣道をし、日々ご指導していただいている先生方、保護者の方などたくさんの人へ感謝の気持ちを常に忘れずに取り組むことが1番の目標です。人間的にも成長できるようにこれからも努力していきます。

サッカー

これまでの成績
- 第7回全日本大学サッカー新人戦 第2位
- 第72回全日本大学サッカー選手権大会 ベスト8
- U19全日本大学選抜 第45回アンジェロ・ドッセーナ国際ユース大会 第1位
- U20全日本大学選抜 アジア大学サッカートーナメント 第1位

坂井 悠飛 さん ｜ 島根県 立正大学淞南高校出身

私がサッカーを始めたのは小学2年生の時でした。兄は野球をしていたのですが、いとこがサッカーをしていて、興味を持ちました。

福岡大学に入学した理由は、自分のプレーの特徴をさらに伸ばし、プロサッカー選手になる夢を叶えたいと思ったからです。

福岡大学サッカー部は、毎年のように｢Jリーガーを輩出しており、｢全国ベスト4｣を掲げ、日々高い意識で厳しい練習をしています。部署制度（成長戦略部や総務部の活動）などを通して、人間力の向上にも努めており、サッカー部員が選手としてだけでなく、部署の一員としてサッカー部のために活動しています。

福岡大学はさまざまな専門競技について深く学びを得られる大学であり、他ではできないことが経験可能で、施設・環境が充実した大学だと思います。

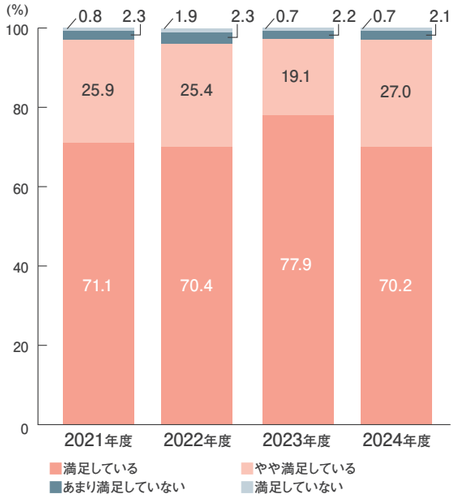
チーム目標としては、九州リーグ優勝、全国ベスト4としっかりと結果を残していきたいです。また、個人としては、さまざまな選抜活動に選出され、Jリーグチームに自分のプレーをアピールできればなと考えています。応援よろしくお願いします。

「スポーツ科学部」に入学したら?

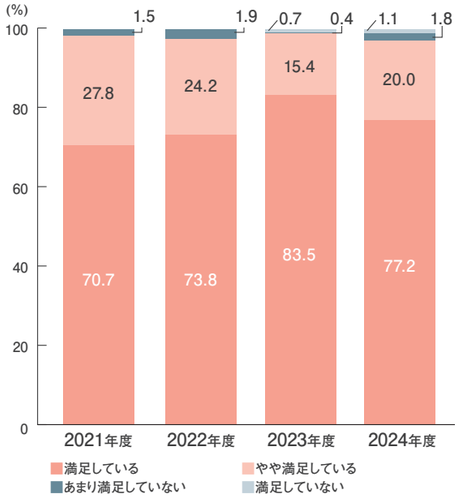
福岡大学スポーツ科学部に入学した学生(2024年度入学)に対して下記の内容で、
アンケートを行いました。(2024年新入生アンケートの結果より)

大学・学部・学科への満足度は?	進学理由は?	卒業後の進路は?	将来の職業イメージは?
とても高い	将来の準備を行う	何らかのイメージを持っている	教員・一般企業・公務員

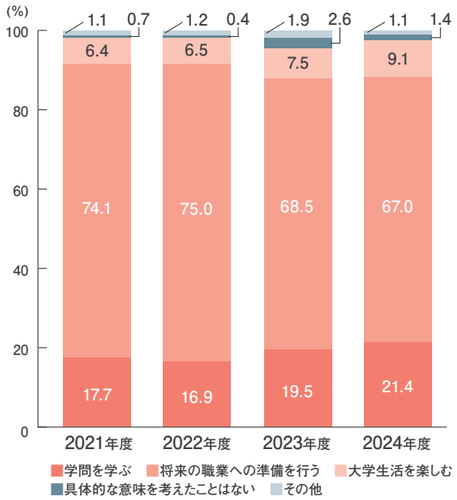
Q1 あなたにとって、福岡大学への進学は満足いくものでしたか?



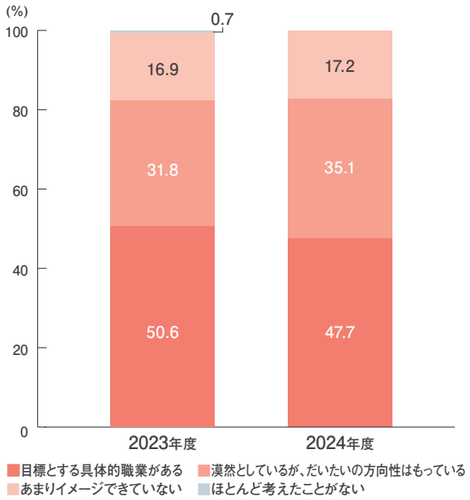
Q2 あなたにとって、自分が所属する学部・学科への入学は満足いくものでしたか?



Q3 あなたにとって、大学で学ぶことはどのような意味を持ちますか?



Q4 現在、自分が将来就きたい職業について、どのようなイメージがありますか?



スポーツ科学を極める! ～学部から大学院へ～

「スポーツを科学的に捉え、専門性を高める」ことが、
将来の目標を達成する。
「スポーツ」の持つ多様性を生かして、自身も成長する。

スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻は、運動、スポーツ、レクリエーション、レジャー、体育、健康、福祉等を対象として学問の深化を図り、健康長寿社会の実現に貢献し、高度なスポーツ知を拓くことを教育理念としています。

博士課程前期では、競技スポーツ・学校体育・地域スポーツ・医療等の指導現場において高度な知識と技術を基盤とした科学的指導を実践・応用できる専門家の養成を行います。

博士課程後期では、健康増進を目的とした処方、あるいは疾病や傷害の治療・予防・再発防止を目的とした処方、また、アスリートから幼児や高齢者に至るまでを対象として体力・スポーツパフォーマンス向上を目的とした処方などに関した研究を行います。

そして、これらの専門領域において、自立して研究活動を行うことができる研究者を養成します。

■Voice

※取材の内容は2025年取材時のものです。

研究の世界と現場をつなぐ

堤 宏太朗 さん
スポーツ健康科学研究科
博士課程前期 2026年修了

私が大学院に進学した理由は、私の専門種目であるマラソンにおいて、スポーツ障害によって選手生命を絶たれてしまうアスリートや、マラソンを楽しめなくなった市民ランナー等の方に対して、研究の力で何か手助けになりたいと思ったからです。

[在学中の取り組み]

私は、ランニングにおける接地パターンの違いが足部に与える影響や、シューズを履いた状態と裸足の状態で足部にどのような違いが生じるのかを解明することを目的として研究を行っています。実験やデータの解析に加え、国際学会での発表など、これまで経験したことのない活動が多く、日々新たな刺激をもらいながら取り組んでいます。また、研究で得た知識や経験を、中学校の部活動指導員やクラブチームへ還元する活動も行っています。科学的な視点からスポーツ障害を予防し、研究の世界と現場をつなぐことを目指しながら、日々の活動に励んでいます。

[後輩へのメッセージ]

研究をしたいという明確な意思や目的がある方にとって、これ以上ない設備と環境が整っていると思います。覚えるべきことややるべきことが多く、決して楽ではありませんが、それ以上に探求心を刺激される貴重な機会です。興味のある方は、ぜひ検討してみてください。

日々の学びが創る未来

橋本 紗希 さん
スポーツ健康科学研究科
博士課程前期 2025年修了

檜垣ゼミの授業で加速度計を装着し自らの日常生活をデータとして可視化したことがきっかけで、繰り返しのような毎日の生活も数値化すると傾向が表れることに魅了されました。日常の生活を科学的に捉えたいと思い、大学院進学を志望しました。

[在学中の取り組み]

在学中は運動生理学研究室に所属し、ヒトの行動パターンの普遍性から高齢者に着目して、生活行動パターンと認知機能の関連について検討しました。専修分野だけでなく、他分野の講義を受ける機会も多く、自身の研究テーマと関連する領域の知識の幅を広めることができました。研究室の勉強会や学会発表では、学んだことを周りの人に分かりやすく伝える力を身に付けることができたと感じています。また、高齢者を対象とした体力測定や運動教室を通して、実践的な指導法や対象者に寄り添う姿勢の重要性を学びました。在学中は学内外の多くの方との出会いを通して、多角的な視点から健康づくりを支える知見を深めることができたと思います。

[後輩へのメッセージ]

スポーツ健康科学研究科は、学びたいことを存分に追究できる環境があります。明らかにしたい研究テーマに寄り添って指導してくださる先生や先輩、切磋琢磨できる仲間たちと共に大きく成長できるとても魅力的な場所です。

トップアスリート紹介

夢へと続く一本道を
一意専心の努力で
つかみ取る。

梅野 隆太郎 選手

阪神タイガース所属

2014年 スポーツ科学部卒業
（福岡県 福岡工業大学附属城東高校出身）

- 2021年　東京2020オリンピック 日本代表
- 2023年　プロ野球オールスターゲーム 出場

高校卒業時点では、自分の納得のいく体ができていないため、4年間で体をつくって実績を積みたいと思っていました。そんな思いを胸に福岡大学に進学しました。福岡大学の4年間は、小さい頃から抱いてきたプロ野球選手という夢を叶えるための4年間でした。体と心を鍛える努力一色の日々でしたが、諦めずに進んできた自分を誇りに思います。

また、大学時代には、トップアスリートを目指す人ばかりの寮で暮らしていました。競技は違っても同じ志を持っている仲間と励まし合いながら、自分のペースで自由に学ばせてもらえる環境がありがたかったです。

スポーツ科学部の授業では、プロ野球選手の先輩である渡邊正和先生に教わるために「卒業研究論文」を履修しました。自分も経験したドラフト会議をテーマに卒業研究論文を作成し、プレゼンテーションで精神力も養えました。

“ヨネクラ”を武器に
世界の頂点を目指す。

米倉 英信 選手

徳洲会体操クラブ所属

2020年 スポーツ科学部卒業
（岡山県 関西高校出身）

- 2018年・2019年　全日本学生体操競技選手権大会二連覇
- 2018年　全日本体操種目別選手権 跳馬 優勝
- 2019年　自身が発表した技が〈ヨネクラ〉と命名
- 2021年　世界体操競技選手権大会 跳馬2位

5歳の時に福岡市のクラブで体操をはじめ、中学時代は全国大会に出場、高校は岡山にある強豪名門校・関西高校に進学しました。高校時代は得意種目であった跳馬での優勝を狙える機会がありましたが、いずれも準優勝に終わっていました。さらなる競技力向上を求めて、父親の母校でもあった地元の福岡大学への進学を決めました。大学では、スポーツや身体に関する授業も多く、興味深く授業に取り組めました。また、もともと歴史が好きだったこともあり、スポーツ史の授業は楽しく、勉強する楽しさも味わうことができました。

大学2年次生の頃に、種目別で日本代表が狙えるようになり、「跳馬一本で五輪を目指す」という目標ができました。跳馬に関しては日本一練習してきたと思えるくらい福岡大学で競技に打ち込むことができました。そのおかげで、2018年の全日本選手権では跳馬で優勝、初めて日本一になることができました。福岡大学を選んで本当に良かったと思っています。

現在は神奈川県にある徳洲会体操クラブに拠点を移し、練習に取り組んでいます。大学4年間では、うまくいかない時もあると思いますが、諦めず目標を持って頑張りましょう。

スポーツで
必要となる学問が
実践に生きてくる!

中村 匠 選手

豊田合成ブルーファルコン所属

2019年 スポーツ科学部卒業
（福岡県 福岡魁誠高校出身）

- ハンドボール日本代表
- 2018年　世界学生選手権大会（クロアチア）3位
- 2023年　日本ハンドボールリーグ MVP
- 2023年　パリオリンピック男子アジア最終予選優勝（オリンピック出場権獲得）

私が福岡大学に進学した理由は、当時の福岡魁誠高校の恩師が福大出身の方であり、高いレベルでハンドボールができると薦めていただいたからです。入学したスポーツ科学部は、スポーツをする中で必要となる生理学、栄養学、スポーツバイオメカニクス、体力学などの身体の仕組み、動かし方、トレーニング法などを詳しく学ぶことができ、実践に生かせるという点も魅力的でした。ちなみに私は公衆衛生学の研究室で学びました。

大学時代は4年次の全日本インカレで準優勝することができました。現在は豊田合成ブルーファルコンに所属しており、2021年度日本選手権優勝、大会MVPに選んでいただきました。また、2021年3月には、国内最高峰である日本ハンドボールリーグプレーオフで2連覇をすることができました。今日、日本代表選手として活動できているのは、福大で学んだあらゆることがつながってのことと実感しています。

皆さんもこれから先辛いことがあると思いますが、必ず乗り越えられると思います。共に頑張りましょう！

競技も学びも全力で
学生日本一と
教員免許を手に。

上田 百寧 選手

株式会社ゼンリン所属

2022年 スポーツ科学部卒業
（福岡県 中村学園女子高校出身）

- 2022年　世界選手権（オレゴン）出場
- 2023年　世界選手権（ブダペスト）出場
- 2024年　パリオリンピック10位

私は福岡県糸島市で生まれ育ち、福岡が大好きです。中学、高校の恩師は福岡大学陸上部のOBで、福岡大学とはすごく縁があるなと感じています。福岡大学への進学を決めた理由は、高校生の時、達成できなかった日本一を大学で必ず達成すること、そして教員になりたいという目標もあったので、その両方を達成することができる環境が整っていると思ったからです。

入学してすぐに怪我をしてしまい、苦しい時期もありましたが、大学2年次には学生日本一を達成する事ができました。今でもその瞬間が1番の思い出です。もう一つの目標でもあった教員免許（中学、高校）も無事に取得する事ができました。達成できたのは部活も勉強も共に頑張る仲間や信頼できる先生方がいるから一生懸命取り組むことができたと思っていますし、福岡大学を選んで正解だったと確信しています。

現在は北九州市に本社がある株式会社ゼンリンに所属しています。「地元福岡で応援してもらいたい、活動していきたい」という気持ちで入社しました。大学を卒業してからも練習拠点は福岡大学にさせていただいているので、新しく入学してくる皆さんに会う機会もあると思います。一緒に目標に向かって頑張りましょう！

トップアスリートリスト

団体の部（全国大会3位以上）

剣道部女子	吉良さくら、石井舞優、河野百響、香野怜奈	第43回全日本女子学生剣道優勝大会	優勝
陸上競技部	伊藤彩香、坂井日菜美、柴藤凛	第108回日本陸上競技選手権大会 女子4×100mリレー	第2位
	伊藤彩香、坂井日菜美、柴藤凛	第93回日本学生陸上競技対校選手権大会 女子4×100mリレー	第3位

個人の部（全国大会3位以上）

陸上競技部	山形愛羽	第78回出雲陸上競技大会 女子100m	第3位
		2024日本学生陸上競技個人選手権大会 女子100m、200m	第1位、第1位
		布勢スプリント2024 女子100m	第2位
	江原美月優	2024日本学生陸上競技個人選手権大会 女子400m	第3位
		第40回U20日本陸上競技選手権大会女子 200m、女子400m	第2位、第2位
	伊藤彩香	第93回日本学生陸上競技選手権大会 女子100mH	第2位
	中尾優花	2024日本学生陸上競技個人選手権大会 女子走幅跳	第3位
	アツオビン ジェイソン	2024日本学生陸上競技個人選手権大会 男子砲丸投	第1位
		第108回日本陸上競技個人選手権大会 男子砲丸投	第2位
		第64回実業団・学生対抗陸上競技選手権大会 男子砲丸投	第2位
		第93回日本学生陸上競技対校選手権大会 男子砲丸投	第2位
		第21回田島直人記念陸上競技大会 男子砲丸投	第1位
柔道部	大野萌亜	2024年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 女子57kg級	第2位
		2024年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 女子57kg級	第3位
	小齋穂奈美	全日本学生柔道体重別選手権大会 女子63kg級	第2位
新体操競技部	海谷燎摩	全日本学生新体操選手権大会 個人総合	第2位
なぎなた部	内田優	第63回全日本学生なぎなた選手権大会 個人試合	第2位
	平田華代 内田優	第63回全日本学生なぎなた選手権大会 演技試合	第2位
モーターボート・水上スキー部	長友亮	2024年全日本学生水上スキー選手権大会チャンピオンシリーズ第2戦 男子スラローム、男子トリック、男子個人総合	第2位、第2位、第2位
		2024年度全日本学生水上スキー選手権大会 男子個人総合	第2位
レスリング部	黒木美帆	令和6年度JOC杯ジュニアキーンズカップ・レスリング選手権大会 U23の部 57kg級	第3位
	磯江はるか	令和6年度JOC杯ジュニアキーンズカップ・レスリング選手権大会 U23の部 50kg級	第3位
	小林久美	令和6年度JOC杯ジュニアキーンズカップ・レスリング選手権大会 U23の部 68kg級	第2位
		第71回全日本社会人レスリング選手権大会 女子68kg級	第3位
		令和6年度全日本学生レスリング選手権大会 女子68kg級	第3位
		フォーデイズ杯令和6年度 第17回全日本女子オープンレスリング選手権大会 女子68kg級	第2位

個人の部（国際試合等対象選手一覧）

柔道部	大野萌亜	2024チューリンゲン国際大会 女子57kg級 グランドスラム東京2024 57kg級 日本代表	第1位 出場
陸上競技部	山形愛羽	ナッソー2024世界リレー 女子4×100mリレー	出場 ※予選7着
	恒石望乃	第20回U20アジア陸上競技選手権大会 女子走幅跳	第2位
サッカー部	坂井悠飛	U20全日本大学選抜 アジア大学サッカートーナメント	優勝
ソフトボール部	青山隼也	大学男子日本代表選出 インドネシアマカッサルオープン	優勝
ハンドボール部	大山紗理奈	U18女子日本代表選出 第10回女子ユースハンドボール世界選手権	出場 ※第8位

スポーツ科学部Q&A

Q 競技の情報などは
どこで調べられますか？

A 専用HPを開設しています。
詳しい試合状況、競技情報など閲覧できるスポーツ科学部専用HPがあるので、ぜひチェックしてみてください。
福岡大学公式HPの学部サイトからもリンクしています。

Webサイト
はこちら

Q スポーツの競技力向上はどんな方法で、
どこで目指せますか？

A ほとんどの学生は運動クラブに所属し、実践的トレーニングをクラブで行い、競技大会等に出場し、競技力向上を図っています。科学的知識は講義やコーチ法演習およびゼミで講義形式・演習形式（理論と実技）あるいは実験形式で学びます。したがって競技力向上は授業で得られた知識を運動クラブの実践でいかに生かすかが重要になります。

Q 大学院ではどんなことが学べますか？

A 大学院博士課程前期では、体育学、体力学、スポーツ医学、体育科教育学、コーチ学、運動健康学の6専修が設けられており、体育・スポーツ・健康運動の高度な知識・技術をもとに社会が必要とする科学的指導を実践・応用できる専門家を養成し、後期課程では、専門的な領域で自立して研究活動を行える研究者の養成を目的としています。

Q 就職・進路に対してのサポート体制について
詳しく教えてください。

A より良い進路・就職選択をするために、3・4年次になって初めて悩むのではなく、自らの将来に向かって計画的に大学生活を過ごすことが肝要です。スポーツ科学部では、その選択について早い段階から意識を持って取り組むよう次のような支援を行っています。

インターンシップ

8月から9月の夏季休暇中に、企業・団体等を受け入れ先としたインターンシップを実施しています。現地の実習・就業体験を通して、日頃の学修の成果を確かめながら、各種の職域、職業適性への理解を深められるように行っています。

進路ガイダンス

進学・就職に対する基本的な活動方法から、就職試験で大きなウエイトを占める面接試験対策のための「模擬面接会」や「対策講座」。各職場の本学卒業生を講師に招いて「業界説明会」などでアドバイスします。こうしたガイダンスを通じて情報の提供を含め、進路実現に向けてサポートしています。

個人面談（ヒアリング）

一人一人の進学に関するさまざまな悩みや就職活動の疑問、不安を解消し、よりスムーズにできるように、アドバイスを行っています。
その他に、キャリアセンター主催の「キャリア形成支援講座」などの多彩なプログラムへの参加利用ができます。

Q 取得できる資格等について詳しく教えてください。

A

取得できる免許・資格について

- 中学校・高等学校保健体育教諭一種免許
- 健康運動指導士
- 健康運動実践指導者
- 日本スポーツ協会公認ハンドボールコーチ1
- 日本スポーツ協会公認水泳コーチ1・3
- 日本トレーニング指導者協会認定トレーニング指導者
- JPSU公認スポーツトレーナー（認定試験受験資格）

日本スポーツ協会公認
スポーツ指導者養成講習・試験（共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）免除

- スポーツ指導基礎資格（スポーツリーダー）
- 競技別指導者資格（指導員、上級指導員、コーチ、上級コーチ、教師、上級教師）
- フィットネス系資格（ジュニアスポーツ指導員、スポーツプログラマー）
- マネジメント指導者資格（アシスタントマネジャー、クラブマネジャー）

- キャンプインストラクター
- レクリエーションインストラクター
- 初級障がい者スポーツ指導員（資格申請により認定）

Q 授業の様子を教えてください。

A 本学部では、優れた運動技能やスポーツ経験を持つ学生たちが、医学・科学的な知識を「理論知」として学び、スポーツを実践する中で得た経験や感覚を体系化する「実践知」を学び、スポーツを論理的に教えられるチカラが身に付くような教育を行っています。

スポーツ生理学実験実習

器械運動Ⅰ

学部祭

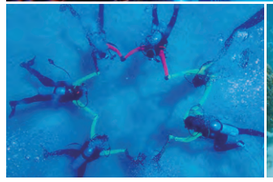
ウェイトトレーニング演習

生涯スポーツ演習Ⅲ

キャンプ実習

ゴルフ実習

アクア実習



スキー実習

スケート実習